

科目名	統計学	担当教員	佐々木 努 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	教養科目	選択	1年次	前期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13A	①					

科目概要	様々な資料やデータを整理し、検定や推定を用いて分析を行い、結論を得ることは統計学の重要な役割です。自然科学や社会科学など他の学問領域でも多く活用されており、データを扱う学問を修める者には必要性の高い学問です。本講義は、多々ある統計的手法のなかでも、特に見聞きする機会が多く、さらに使用頻度の高い基本的な知識と手法について学習し、データ分析の具体的手法を学ぶ。
学習目標	① 統計に関わる用語とその内容を理解する。 ② 「得られたデータが如何なる意味をもつものか？」を客観的に解釈する。 ③ 簡単な統計手法を習得する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	統計学の基本概念	統計学の必要性	統計学の必要性、特に生体情報処理に係わる必要性を理解する。	
2	統計学の機能	統計学の二つの機能	情報の基本構造を明らかにできる（解析できる）。少数の情報から全体を推し量る（検定と推定）ことができる。	
3	基本統計量 1	主要な基本統計量	主要な基本統計量の意味を説明することができる。	
4	基本統計量 2	主要な基本統計量の表現	ヒストグラム、平均値グラフ、クロス集計表を作成することができる。分散や標準偏差を求めることができる。	
5	検定 1	有意性検定	有意性検定の意味を説明できる。測定尺度、対応あり／なし、パラメトリック／ノン・パラメトリック、正規性と等分散性を説明できる。	
6	検定 2	2 群間の差の有意性検定	2 群間比較における、有意性検定の種類を説明できる。統計学的有意差と効果の大きさ、臨床的有意差の違いを理解できる。	
7	推定	相関と回帰	相関係数、種々の回帰式の意味を説明できる。	
8	統計結果の解釈	主要な研究結果の解釈	論文に記載されている結果の解釈ができる。	
評価方法		課題（20%）＋筆記試験（80%）		
課題に対するフィードバック		授業をとおしてフィードバックする。		
教科図書		教員作成資料		
参考図書		講義で紹介する。		
学習の準備		予習：次回のテキストが配布されている場合は、通読し用語の確認をする。（90分） 復習：講義で理解できた内容と、理解が不十分な内容を整理し、自主学習、担当教員への質問の準備を行う。（90分）		

オフィスアワー	毎週月曜日 15 : 00～16 : 30。その他の時間は、随時対応する。
担当教員欄に※印を 附した教員の 実務経 験	